

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成27年1月22日(2015.1.22)

【公開番号】特開2013-138040(P2013-138040A)

【公開日】平成25年7月11日(2013.7.11)

【年通号数】公開・登録公報2013-037

【出願番号】特願2011-276423(P2011-276423)

【国際特許分類】

H 01 L 31/042 (2014.01)

E 04 D 13/18 (2014.01)

【F I】

H 01 L 31/04 R

E 04 D 13/18 E T D

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月28日(2014.11.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

太陽光発電パネルの保持部材であって、
本体と、

前記本体から横方向に延出し、上面を有する受けパットと、
前記受けパッドより上方に位置し、前記本体に対して回転可能であり、下面を有するクランプ部と、

ジッパー部と、を備え、

前記太陽光発電パネルの縁の下面が前記受けパットの上面に当接するように、前記太陽光発電パネルが配置され、前記クランプ部の下面が前記太陽光発電パネルの縁の上面に当接するようにクランプ部が前記本体に対して回転された状態において、前記本体と前記クランプ部の間に溝が形成され、

前記ジッパー部は前記溝と同じ断面形状を有し、前記溝に前記ジッパー部が嵌め込まれることにより、前記クランプ部の回転が拘束されることを特徴とする、太陽光発電パネルの保持部材。

【請求項2】

前記ジッパー部は、前記本体に対して回転可能に接続され、前記本体に対して回転させることにより前記溝に嵌め込むことができる特徴とする請求項1記載の太陽光発電パネルの保持部材。

【請求項3】

前記保持部材はポリマー材料からなり、押出成形により一体に成形されたことを特徴とする請求項1又は2記載の太陽光発電パネルの保持部材。

【請求項4】

前記ポリマー材料は60乃至120のショアA硬度を有することを特徴とする請求項3に記載の太陽光発電パネルの保持部材。

【請求項5】

前記クランプ部は、前記ジッパー部が嵌め込まれていない状態において、前記クランプ部の下面が前記受けパッドの上面に対して1~90度の角度に位置する、請求項1~4の

何れかに記載の太陽光発電パネルの保持部材。

【請求項 6】

前記クランプ部は、前記ジッパー部が嵌め込まれていない状態において、前記クランプ部の下面が前記受けパッドの上面に対して 90 度の角度に位置する、請求項 5 に記載の太陽光発電パネルの保持部材。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 の何れかに記載された太陽光発電パネルの保持部材と、ガイド部材を含む設置用地の支持体とを備えた太陽光発電パネルを保持するための組立体であって、

前記保持部材は基部を有し、

前記支持体は前記基部を受け入れる溝を有し、

前記基部が前記支持体の前記溝に受け入れられることにより、前記保持部材は前記支持体に支持される、太陽光発電パネル保持組立体。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 6 の何れかに記載された保持部材を用いて太陽光発電パネルを設置用地に取り付ける方法であって、

前記受けパッドの上面に太陽光発電パネルを配置し、前記クランプ部を回転させて前記下面を前記太陽光発電パネルの上面に当接させるステップと、

前記本体と前記クランプ部の間に溝に前記ジッパー部を嵌め込むステップと、

前記保持部材を支持構造により設置用地に取り付けるステップと、を有する方法。